

第6号

平成5年
11月30日

題字
植木 満会長

東進

発行所

土浦一高東進会

〔茨城県立土浦一高〕
進修同窓会
東京支部

事務局 〒101 東京都千代田区神田神保町2-14 朝日神保町プラザ801号
千代田法律会計事務所内 ☎03-3262-0310 FAX 03-3262-0648



東京プリンスホテル「マグノリアホール」で土浦一高吹奏楽部による名曲コンサートが開催され、マニロウ作曲「コバカバーナ」、ドボルザーク作曲「新世界」などの演奏に集まった聴衆はしばし聞惚れていました。
実は、平成五年六月十二日正午から開催された平成五年度の東京支部（東進会）総会のアトラクションとして、母校から駆付けた三年生八名、二年生十七名、一年生十七名の総勢四十二名による名演奏のことです。山川湖さんが演奏に先立って「県大会を目指して猛練

総会特集号

平成5年度東進会総会 を終えて



習中です。その成果を聞いて下さい。」と挨拶し、アンコール曲も含めて五曲が演奏されました。ホテル側もこの企画に大変積極的に協力してくれ楽器の搬送や舞台設置などに便宜を図ってくれました。引率の橋本正子先生ありがとうございました。

さて、総会は百四十二名の同窓生が参集し、土浦一高吹奏楽部の演奏中、会場に入場した卒業生達は感無量、その後、校歌の斉唱となり、演奏する在校生と歌う卒業生達との思わぬ交流が実現しました。

（演奏した生徒の手紙は3面に）

今年も 総会・懇親会は 盛況裡に終了

芳尾敬一（高五回）代表幹事の司会で総会が開かれ、植木満会長の挨拶、決算報告、監査報告、予算案の承認の後、大曾根宏亮校長先生の母校の近況報告、木島幸夫氏の進修同窓会本部の活動等の報告で、総会は無事終了。

引き続き冒頭に書いたとおりアトラクションとして、土浦一高吹奏楽部による演奏があり、皆聞惚れていました。演奏の後、生徒達は万雷の拍手に送られて会場を後にしました。

その後、蛭原芳和氏（高二十三回）と長戸琴さん（高十八回）の名コンビによる司会で、懇親会がなごやかに進行、福引きなども行われ、盛上った会となりました。懇親会の終了後も熱気はさめず、思い思いに二次会の会場に流れていきました。

東京支部総会（東進会）は前回から運営委員が当番制となり、今回は高校十回卒業と二十回卒業の方達が担当してくれました。

平成六年度の東進会総会は、平成六年六月十八日（土曜日）に東京プリンスホテルで開催する予定ですので、皆さんお誘い合わせのうえ参加されることを期待したいと思います。

瑯哲夫君のプロフィールについては（会員いんふめーしょん）に紹介されているので省略するが、宮中晩餐会で昭和天皇とスペイン国王フェリペ二世とのあいだで通訳をしている様子、海部首相のメキシコ訪問のとき首相の車に同乗随行している姿をテレビで見かけた人も少くないと思う。

十月五日、私たち高校五回卒業の連中三十二名が集まって（瑯哲夫君の駐エクアドル大使就任を祝う集い）を催した。

八月二十八日付夕刊で大使発令のニュースを知り、何とかこの喜びを私達同期の者達で祝いたいと思った。多分任地のバルセロナでこの発表を知ったのではないかと状況を聞くため留守宅に電話したところ、たまたま帰任中の本人と連絡がとれ「実は僕も日本に帰っているときに発令があるとは思っていなかったのでびっくりしている。今からバルセロナに戻り残務整理や引き継ぎをし、十月半ばには日本に帰れるだろうから都合のよい日と連絡する」……二十日もかかったバルセロナからの航空便が私の手元に届いたのは九月二十九日「十月一日バルセロナ発・二日東京着・十月五日の夜時間空けられる」と言う。

瑯哲夫君の駐エクアドル大使就任を喜ぶ



瑯氏（中央）と同期の人達 東進会総会で

土浦一高での交友はたった三年間だったのに四十年もの時を超えて三十二名の者が集まった。中には地元土浦からはせ付けてきた者もいる。みんな我が事のように嬉しかった。料理が減らない。積る話しが料理になっちゃった。

スペイン語の普通名詞で（赤道）と言う意味のエクアドル（Ecuador）、面積二八・四万平方キロ、人口一、〇七八万人、赤道標識を跨げば南半球・北半球を股にかけた記念写真が撮れる。首都のキト（Quito）は富士山の七合目に値する標高二、八〇〇メートルにあり、日本人が行っていきなり風呂に入ったり、酒を飲んだりするとノックアウトされると言う。

いつの間にか料理のテーブルを囲んで三十二人の輪ができていた。バルセロナ総領事としてオリンピックを成功させ、今また高校卒業初めての大使となった瑯君の努力を賞賛し、これからの健康と活躍を祈るスピーチが続いた。その言葉は親しみと喜びが込められていた。最後に瑯君が「今からの仕事の責任は重大ですが、みんなの中ではないつまでも（哲ちゃん）でいたい。」と締めた。

（高五回卒 芳尾敬一）

F.ホルン：中山 泰生

昼飯 良かったなと思。たんですわ

そのわりとうまくなれたですね。演奏も又然り。

パーカッション：青島 みゆき

あのような素晴らしい場所で演奏できたこと

とても嬉しく思っています。有難うございました。

クラリネット 佐藤 史江

あのような素晴らしい場所で演奏できて

とても良い経験となりました。有難うございました。

指揮：皆藤 千尋

先日はお招き頂きありがとうございました。拙者未熟な

私達ですが、これからお力添えを宜しくお願い致します。

トロンボーン 甲村 智成

名譽あるエ浦第一高等学校同窓会に出席できうれしく

思います。今後また機会を見守って下さり。

トロンボーン 島田 岳志

テレホンカード大車に使っています。ありがとうございます

いました。

トロンボーン：橋 望

とても美しい会場で演奏させて頂きまして感謝

ばかりです。今後も増々がんばってみたいと思います。

ユーフォニアム：岩波 悠子

あのような素晴らしい場所で演奏させて頂

き本当にありがとうございます。

トロンボーン：須賀 さゆり

私たちに素晴らしい機会を与えて下さりありがとうございました。

とても良い経験になりました。

クラリネット：木村 知子

あのような場所で演奏できて、とても良い経験

になりました。本当にありがとうございます。

アルトサクソフーン：下村 千鶴

あのような素晴らしい所にお招き頂きありがとうございます

ございました。この経験をいかして、これからも

頑張りたいと思います。

ユーフォニアム：橋本 健太郎

素晴らしい場所へお招き頂き、また私達の

強い演奏を聴かせて頂き、感謝して申し上げます。

来年は、私も初任給が厚い一年、もっと大変

な経験になりました。本当に有難うございました。

チューバ：島田 健行

何年たっても校歌聴いたものという昔が校歌を

歌っている事に感謝しました。

トランペット：竹吉 俊輔

あのような機会にお招き頂き、部員一同、心よりお礼

申し上げます。

パーカッション：湯浅 真子

素晴らしい機会を与えて下さりありがとうございます。貴

重なる経験となりました。

フルート：野村さち子

先日はお招き頂き、ありがとうございました。

同窓会、またその御披露をお祈りしています。

ホルン：別府 紀子

あんなに拍手と、皆様にお喜び頂いた事に感謝しました。

トランペット：中野 裕子

素晴らしい場所で演奏ができ、感謝しています。

ホルン：市原 秀紀

私たちの演奏に温かい拍手を送り、頂き、感動しました。

本当にありがとうございます。

アルトサクソフーン：緒方 いずみ

私たちに、とても良い経験でした。

これからもういっしょと、楽しくお願いいたします。

フルート：吉江 幸子

皆様に関わっていただき、うれしく思っています。どうもありがとう

ございました。

ホルン 柳田 真里

とて立派な場所で演奏でき、うれしかったです。とてもよい思い出と

なりました。柱みなさん真剣に演奏を聞いて下さり、本当にありがとうございます。

フルート：山川 湖

この機会を与えて下さり、ありがとうございます。

今後、もっと頑張りたいです。

パーカッション：山内 新隆

アリスホテル、そこは素晴らしい場所でした。初一、初一、とても素晴らしい感謝!

バリトサクソフーン：神林 勝

あのような場所で演奏するのは、初めてで、とても緊張しましたが、

よい経験になりました。またよろしくお願いします。

パーカッション：野口 信

貴重な経験させて頂きました。本当にありがとうございます。

パーカッション：三浦 誠司

我が校の歴史の重みを改めて感じました。在校生として名に

恥じぬよう頑張りたいと思います。

トランペット：張替 貴聖

私達に素晴らしい機会を与えて下さり有難うございます。

益々の御披露をお祈りします。

クラリネット：飯田 はるみ

あのような所で演奏することは、めったにないが、よい思い出

となりました。ありがとうございました。

クラリネット：香月 菜穂子

貴重な経験を、ありがとうございます。

チューバ：田村 哲朗

大先輩方と貴重な時間を過ごせて光栄です。ありがとうございます。

バスクラリネット：相美 文子

楽器をお借りいただき、とても感謝していただ

演奏を聞いて頂き、ありがとうございます。

トランペット 寺井 一隆

東京アリスホテルという素晴らしい場所で演奏できたこととても

感謝しています。

会員いんふおめーしょん

高校五回卒業の同窓生塙哲夫氏

エクアドル大使に

新聞の人事欄に載っていた塙氏が、週刊読売九月十九日号に、「学歴社会いずこ駐エクアドル大使は「高卒」」のタイトルで掲載されました。お読みになっていない方に冒頭の部分を紹介します。

〔新聞の人事欄に「エクアドル大使に塙氏」と載っていても、およそ興味を引かないが、その経歴に「茨城県立土浦一高卒」とあれば、チト話は違う。実際、塙氏と同時に発令となった他の大使四人は、いずれも東大出身者だ。

塙哲夫氏、五十八歳、東京都出身。高校卒業後、郵政職員訓練所の普通部研修生から、昭和三十一年に外務書記試験に合格して外務省に入った。

ペルー大使館参事官兼リマ総領事、ペルー公使を経て、平成三年からバルセロナ総領事を務めている。

「高卒」でも「大使」になれるのだ。というように書出してページ半掲載されていました。

浅草六区を興した男

「鉄砲喜久一代」浦和憲一著

著者の本名は御存知旧制中学昭和六

年卒。東京商船大学名誉教授茂在寅男先輩。北条町出身の鉄砲喜久の一代記は茨城出身者感激に咽ぶこと必定。三一八頁の大著。現在某有名劇団で演劇化企画中。近くの書店又は直接発行所に申込んで下さい。(渡辺光夫)

(発行所) 国際情報社

電話 〇三―三四四二―二八一―

各期の活動状況

東進土中四十五回同窓会

旧制中学四十五回生・昭和二十年卒業で東進地区在住者を主体として、平成四年十一月に結成されたが、現在関西地区在住者まで加えて、会員数三十七名、東京・千葉・神奈川・埼玉地区より選出された役員十一名の合議で運営。会長は東進会幹事の渡辺光夫氏。

特に内規がユニークで、会員が結婚した場合の祝金は一万円。実子誕生の場合は努力賞として拾萬円を贈る。会員は上寿百才を目指して頑張るものとするが、若し……等と高齢化社会を先取りして意気盛んなもの。

写真は植木会長もご招待を受け、東京神田に二十八名が参集し盛大に挙行された平成五年度総会の記念写真。

(撮影) 編集委員 長戸 琴



平成六年度

土浦一高東進会

(土浦中学土浦一高東京東進修同窓会)

開催日程決定

(日時)平成六年六月十八日(土曜日)

十二時～十五時

(会場)東京プリンスホテル(港区)

芝公園三―三―一)

十編集後記

今年は長雨・低温と天候不順の夏の日が続ぎ、不況の上に、不作の声も聞こえはじめてきました。

東進会の会員の中にも影響を受けられた方もいらっしゃると思いますが、頑張ってください。

総会を中心に掲載となりました。

総会は母校の後輩の素晴らしい演奏を聴くことができ、大変良かったと思います。幹事の皆さん、本当にご苦労様でした。次回は高校十一回と十二回卒業の幹事の皆さんです。大いに期待したいと思います。

東進会の名簿作りも着々と進んでいるようです。新しい情報等ありましたら、事務局までご連絡ください。

最後に会員の皆様のご健康とご活躍をお祈りします。